

ラムネに入っている玉は、ビー(B)玉ではなく、エー(A)玉 ???!

コットンテール通信
野うさぎ

cottontail.jimu@laboside.com
http://www.cottontail.co.jp



2018年
summer
8月号
Vol.128

発行責任者 奥村英世

残暑お見舞い申し上げます

日頃は格別のご厚情を賜り誠にありがとうございます。

酷暑の折柄、皆様のご健勝をお祈りいたします。

現在、全国では約35,000人(推定)の歯科技工士(歯科医療機関内技工室や材料メーカー勤務者など、歯科技工所勤務者以外も含む)が歯科医療業界に携わっています。また、約21,000軒(推定)の歯科技工所が歯科医師から歯科技工を委託され補てつ物を作製しておりますが、1~2名で運営している小規模な歯科技工所の数が多いのが現状です。

近年の日本の高齢化問題と等しく、歯科技工士や歯科技工所経営者の平均年齢も上昇し、歯科技工士の減少に繋がる問題として様々な場で取り上げられるようになりました。一方、歯科技工士を目指す人の数については、学生を募集する歯科技工士養成機関が49校(過去最大72校)にまで減少し、学生数の減少は顕著であり、歯科技工士の採用の厳しい時代が何年も続いています。改正労働基準法(働き方改革)への取り組みも必須であり、多くの歯科技工所が改正労働基準法に則した労働環境整備を課題として抱えていると推察し、歯科技工所における様々な環境は決して甘いものではありません。

このような状況の中で弊社は先日の「野うさぎ」でもご紹介いたしましたが、本年度も新たな仲間を迎え、先生方からのご指導をいただきながら日々精進しております。また、4月から、歯科技工全般を視野に入れ、デジタル技工に特化する部署「CAD/CAM課」を改組致しました。CAD/CAM課デンチャー班では義歯のフレームワークの研究と並行して、維持装置、連結子の作製をスタートさせています。欠損補てつ分野におけるデジタル技工はカスタムトレー、ベースプレート、インプラントへの応用など、様々なケースに対する活用の可能性があります。また口腔内スキャナーの市場展開や歯科技工所間連携による補てつ物の作製を前提とすると、情報収集や技術習得ならびに設備投資は必要不可欠であり、急務であると考えています。弊社は従来のアナログ技工の良さとデジタル技工の新たな技術を融合させることで、歯科技工士の減少問題や働き方改革に対応出来る対策、取り組みに益々力を入れていきたいと考えています。

先生方にはご教示、ご指導いただくことも多々あるかと思えます。社員一同、更なる努力を重ねていくことをお約束し、先生方に有効な技術・情報のご提供に努めてまいります。今後ともより一層のご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。厳しい暑さが続きますが、どうぞご自愛の上、お過ごしください。

2018年 8月

【夏季休業のお知らせ】

誠に勝手ながら、
8月11日(土)~8月16日(木)
を、夏季休業期間とさせていただきます。



取締役 名古屋事業所長
植西 均



浜松事業所長
奥村 純矢

